

# 梅雨晴れ 元気な歩み



## 5コース満喫し閉幕



旧鉄道の跡の竹林トンネルを歩く参加者。17日、倉吉市関野

「第12回SUN-IN未来ウオーク」(NPO法人未来ウオーク主催)の最終日は17日、倉吉市関野町の倉吉パークスクエアを発着点とする5コースを満喫し、合わせて1373人が参加。梅雨明けの中、倉吉市の街を散策する参加者や旧国鉄跡線、北交野のトンネル通りを元気よく歩いた。

関野町を走る約30キロコースは、健康目標が大勢参加。往路では、大山や森山を通過し、関金温泉街や旧国鉄倉吉線、大山池などの景観を楽しみながら力強く歩を進めた。同倉吉線跡で鉄路が残り、竹林がトンネル状になってある風景を眺み出している場所

○出発点の倉吉パークスクエアが賑わった。17日、倉吉市関野町の倉吉パークスクエア



最新のウォーキングウエアが紹介された。17日、倉吉市関野町の倉吉パークスクエア

では、仲間同士で記念した。きょうは蒸し暑い日だったが、こは竹林が大半加。往路では、大山や森山を通過し、関金温泉街や旧国鉄倉吉線、大山池などの景観を楽しみながら力強く歩を進めた。同倉吉線跡で鉄路が残り、竹林がトンネル状になってある風景を眺み出している場所

「ウォーキングウェア」が紹介された。17日、倉吉市関野町の倉吉パークスクエア

「ウォーキングウェア」が紹介された。17日、倉吉市関野町の倉吉パークスクエア

「ウォーキングウェア」が紹介された。17日、倉吉市関野町の倉吉パークスクエア

「ウォーキングウェア」が紹介された。17日、倉吉市関野町の倉吉パークスクエア

「ウォーキングウェア」が紹介された。17日、倉吉市関野町の倉吉パークスクエア

「ウォーキングウェア」が紹介された。17日、倉吉市関野町の倉吉パークスクエア

「ウォーキングウェア」が紹介された。17日、倉吉市関野町の倉吉パークスクエア

「ウォーキングウェア」が紹介された。17日、倉吉市関野町の倉吉パークスクエア

「ウォーキングウェア」が紹介された。17日、倉吉市関野町の倉吉パークスクエア

「ウォーキングウェア」が紹介された。17日、倉吉市関野町の倉吉パークスクエア

**きょうの紙面** 旧暦4月29日 海外移住の日

**歴史感じ未来ウオーク** 24

SUN-IN未来ウオークの最終日は17日、倉吉パークスクエアを発着点に5コースで実施され、1373人が参加。

くらし 12 聞く者の生きる支えに 12

特集 13 友情深く「楽しい仲間」 13

広場 11 きょうの運勢 12 おくやみ 22

「吉本」ずっこけを町民披露 25

南部町で住民参加型の吉本新喜劇公演。古事記神話を盛り込む劇で客席の笑い誘う。

広がる大都市制度の見直し 3

シリア監視団が活動を停止 4

地域貢献する私立大を支援 26

コースター、小1転落重傷 27

日本海新聞携帯サイト

NEWSmart

最新の特集記事を一足先にチェック

ホームページは 日本海新聞 検索

**93歳のベテランウオーカー表彰**

公式大会機に新設

表彰を受けて笑顔であいさす因さん。17日、倉吉市駄経寺町の倉吉パークスクエア

「おれ」ウオーカーは16、17の両日、全国からウオーカー2860人、地元ボランティア延べ約5000人が参加して盛況のうちに終了しました。

大会開催に当たり、ご協力いただきました各自治体、団体・企業の皆さまに心より感謝いたします。

また、大会の円滑な運営に、協力いただいた各団体とボランティア、会場周辺や沿道の住民の皆さまにお礼申し上げます。

主催

NPO法人未来ウオーク協会

鳥取県ウオーキング協会

鳥取県中部医師会

全日本ノルディックウォーク連盟鳥取県支部

新日本海新聞社

以上の参加者表彰が、品などが贈られた。参加した因マサさん、グの公式大会となった

○ことしは、90歳(93)に鳥取県から記念以上、瀬賀県守山市から 日本マーチングリ

のを機に表彰制度が創設され、因さんが第1号表彰者となった。

因さんは、ウオーキング歴30年以上で、国内各地はもちろん、世界37カ所のウオーカー大会に参加。昨年12月から足を痛めて休んでいたが、復帰後のウオークに今大会を選んだ。

県中部総合事務所の宮本京子所長から表彰を受けた因さんは「足をきちんと治して来年も参加したい」と笑顔を見せていた。